

タイトル	平成25年度流域管理システムの推進に基づく現地検討会
実施年月日	平成25年11月12日（火）
実施場所	青森県東津軽郡外ヶ浜町大字石浜字尻高川国有林内 口広林道ほか
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務所、津軽森林管理署、同支署、 青森森林管理署、下北森林管理署、三八上北森林管理署 37名 外部：（独）森林農地整備センター、青森県、東青地域県民局、 西北地域県民局、青森県森林組合連合会、4森林組合、 6市町村等 19名 計 56名

【取組の概要】

平成23年度に4者で締結した「石浜尻高川地域森林整備推進協定」による森林共同施業団地を管内に有する青森署と、共同施業団地は未締結の現状に有る津軽署・同金木支署とが共同して、民有林と連携した森林整備を進める共同施業団地をテーマに室内及び現地で検討会を開催した。

【取組の成果】

- ・協定当事者同士で、締結後3年目の事業の進捗状況や今後の予定を再確認するとともに、団地内の施業に当たっての今後の課題等について意見交換、認識共有ができた。
- ・林業専用道については、民有林・国有林が連携したことにより循環路線化や土工量減少など線形や構造が当初計画から改善されたことが説明され、団地化のメリット等として参加者にアピールできた。
- ・民有林側の協定当事者から協定締結に至る働きかけ、締結箇所の選定経緯などの苦労話や共同施業団地に期待することなどの生の声が披露されたことが、国有林職員だけでなく協定締結に向け津軽流域管内の関係機関にも参考となった。

【出された意見】

- ・Q)「石浜尻高川地域森林整備推進協定」において、自然災害等の応急措置等の対策はどうなっているのか？
A) 協定者間で協議して行うことになっている。
- ・Q) 民有林同士での集約化、共同化の現状や課題は？
A) 小規模な私有林はまとめにくい。森林経営計画制度の運用見直しも見極めるなどの対応が必要。

【今後の課題】

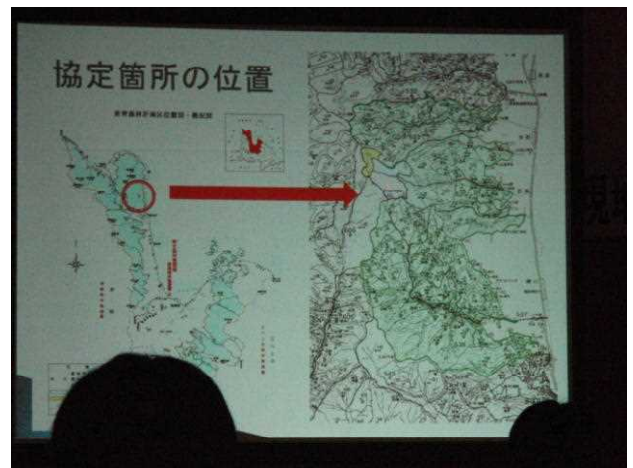
- ・来年度は民有林側（青森水源林整備事務所）が本専用道から分岐する路網計画があり、その後、国有林側でそれを利用した路網を延長する予定があるため、民有林側の路網線形は協議をして決定することとしている。
- ・生産性向上のため、民国が使える土場等を国有林内に設置できないか検討。
- ・民及び国が間伐等の森林整備に着手するので、作業期間の調整等が必要と見込まれる。

タイトル

平成25年度流域管理システムの推進に基づく現地検討会



青森森林管理署長の挨拶



事業の進捗状況等の説明



現地での意見交換



平成26年度に路網整備と間伐を行う民有林